

令和3年度「3年実習」シラバス

校長	教頭	教頭

科目名	3年実習			教科名	工業（情報通信系列）
学年	3年	単位数	3単位（105時間）		

1 科目「実習」について

学習の到達目標	(1) 第2種電気工事士の実技試験程度の課題を時間内に完成することができる (2) 自ら撮影した写真や動画を用い各種アプリを使って編集や加工ができる (3) オフィスを用いてワープロ、表計算、プレゼンテーションができる (4) PMCを用いてFA、シーケンス制御について回路を組むことができる (5) VB、C言語の基礎を理解し基本的なプログラムを組むことができる
使用教科書	なし

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
電気・情報の社会における重要性を理解し、その扱いに関する知識・技術などについて関心を持ち、電気・情報という観点から社会の発展に貢献しようとする態度を身につけている。	電気・情報に関する知識の適切な活用法を判断し、電気・情報に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、創意工夫する能力を身につけている。	電気・情報の実際を適切に活用する技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。	社会における電気・情報の役割を理解し、電気・情報に関する基礎的な知識を身につける。
出席状況、提出物 平常の学習活動 学習態度、自己評価	観察力 作品	発表表現能力 文章表現能力	レポート内容

3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できていると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	100～81	5
十分満足できると判断されるもの	80～66	4
おおむね満足できると判断されるもの	65～51	3
努力を要すると判断されるもの	50～35	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	34～0	1